



# NEWS RELEASE

2016年5月17日

## 米国シリコンバレーベンチャー・キャピタルへの投資

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）の子会社である損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、米国シリコンバレーに拠点を置くベンチャー・キャピタルであるジオデシック・キャピタル（共同代表者：ジョン・ルース前駐日米国大使）が設立したファンド「Geodesic Capital Fund I」への投資を決定しましたので、お知らせいたします。

### 1. 概要

- ・ SOMPOホールディングスおよび損保ジャパン日本興亜は 2016 年 4 月、両社にデジタル戦略部を新設し、デジタル戦略研究・開発拠点として東京と米国シリコンバレーに「SOMPO Digital Lab」を設置しました。
- ・ そのうち、米国シリコンバレーの「SOMPO Digital Lab Silicon Valley」は、当社グループで活用可能なシリコンバレーのデジタルテクノロジーに関する最新情報を収集し、現地有力企業へのアクセスを担っています。
- ・ ジオデシック・キャピタルは、ジョン・ルース前駐日米国大使、米国の著名なベンチャー・キャピタルであるアンドリーセン・ホロウィッツでグロス・ステージ投資パートナーを務めたアシュヴィン・パチレディ氏および総合商社大手の三菱商事が設立しました。
- ・ ジョン・ルース氏は駐日大使として赴任する以前、IT 業界やライフサイエンス業界、新興企業への顧問業務で知られるウィルソン・ソンシーニ・グッドリッチ&ロサーティ法律事務所の最高経営責任者でした。アシュヴィン・パチレディ氏はアンドリーセン・ホロウィッツで Facebook、Twitter、Box、Airbnb、Github への投資に深く関わった実績を持っています。
- ・ 「Geodesic Capital Fund I」はグロス・ステージにある消費者および事業者向けテクノロジー企業に投資するファンドです。
- ・ SOMPOホールディングスおよび損保ジャパン日本興亜は、「Geodesic Capital Fund I」への投資により、「SOMPO Digital Lab Silicon Valley」の現地情報収集力を飛躍的に高め、シリコンバレーにおけるネットワークづくりを加速することができます。

### 2. 今後について

SOMPOホールディングスおよび損保ジャパン日本興亜は、加速するデジタル化の流れをいち早く掴み、グループの事業全体のオペレーションや商品、サービスの改革に資する研究・開発を推進し、お客さまにさらなる「安心・安全・健康」を提供していくことを目指します。

(参考) Geodesic Capital Fund I の概要

ファンド運営会社：ジオデシック・キャピタル

ファンド規模：3億3,500万ドル